



いちき串木野市川上地区で行われる「川上踊」は、今から約400年ほど前、五穀豊穡と平和を祈念して創始されたと伝わる祭りです。

踊りの演目は21番までであり、最初から最後まで通して踊り続けると約30分もかかるといわれます。踊り子は太鼓14人、鉦^{かね}4人から成り、地区内の小学生から高校生などで構成されます。太鼓や鉦に囃子^{はやし}が入り、跳び回りながら音楽に合わせて踊り、鉦役は花笠に振袖姿、太鼓役は白装束に長さ2メートルほどの矢旗を背負います。

年長者の指導を仰ぎながら約

地域の伝統を守り伝える若者たちの熱演に感動

次代に遺したい伝統文化

かごしまの祭り

— 第2回 —



地区内を回りながら奉納される祭りは、年長者から子どもたちへと伝統文化を継ぐ大切な役割を果たしています。

20日間練習を続け、地元の伝統を懸命に守ろうとする若者たちの姿は、見る者に感動を与えてくれます。踊りは地区の神社や公民館など数カ所で開催され、例年、大勢の観客で賑わいます。

当初は8月26日を「踊りの日」と定め、以来連綿と続けられましたが、戦争によって中断。その後、昭和39年に復活し、現在は8月末の日曜日に開催されています。

いちき串木野市 川上踊

鹿児島に古くから伝わる地域の祭りや伝統行事。今回はいちき串木野市で行われる、「川上踊」をご紹介します。

【祭りの舞台】

長田神社

開催日： 8月末の日曜日 ※今年8月28日(日)
 交通： 国道3号港町交差点から県道308号に入り車で10分
 駐車場： 特にありませんので事前にご確認ください。
 TEL： 0996-32-3111
 (いちき串木野市教育委員会社会教育課)

